

平成22年度 値賀中学校 総括評価表(計画)

1. 学校教育目標 たくましく生きる力と豊かな心を持つ生徒の育成
-------------------------------------

2. 学校経営ビジョン (目指す学校像) 「探求」「礼儀」「忍耐」を基盤にした学校 (目指す生徒像) 1 考えて行動する生徒 2 礼儀正しい生徒 3 健康な生徒	(目指す教師像) 1 情熱あふれる教師 2 研修に励む教師 3 健康な教師
---	--

3. 本年度の重点目標 1 基礎学力と学習習慣の定着を図る教育を推進する。 2 規範意識を養い、豊かな感性を育む心の教育を推進する。 3 生徒理解に徹した積極的な生徒指導を推進する。 4 安全・安心な教育環境の整備を推進する。	4. 前年度の成果と課題 < 成果 > ・学校運営、教育活動及び特定課題においても、評価項目は適正でありほとんどの部分で概ね達成できた。また、生徒・保護者アンケート及び学校関係者評価でも回を追うことに概ね良好の評価を得ている。 < 課題 > ・学校の組織としての更なる連携・協力 ・学力向上に関しての生徒・保護者の意欲・意識の向上 ・小中連携を進め、小中一貫した学習習慣の定着を図ると共に、現状を分析し、個に応じた指導方法の更なる工夫 ・豊かな感性をはぐくむ教育の推進、特に小中連携及びSCを中心とした校内体制づくり
---	---

5. 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 具体的評価項目	具体的目標	具体的方策
学校運営	学校経営方針	学校教育目標、目指す学校像、目指す生徒像、本年度の重点目標の周知	教職員、生徒、保護者、地域への周知を図る。アンケートでの周知率85%以上にする。	・「目指す生徒像」や「目指す教師像」の表現を簡易にすることで誰にでも覚えやすく、わかりやすいように工夫する。 ・職員会議、全校集会で説明する。 ・育友会総会時に学校長より直接保護者に説明する。 ・学校便り、保護者会、HP、掲示物等で機会あるごとに知らせ、周知徹底を図る。
	教職員の資質向上	教職員の資質の向上	教職員の資質の向上を図る。特に校内研究の充実を図り、力量を高める。	・校内研究の取り組みの工夫をする。 ・教育センター研修や研究発表校参観等様々な研修の機会を紹介し、職員が進んで研修に励む雰囲気作りを勤める。 ・研修の重要性を把握し、自己研鑽のために自主的に受講させる。 ・ICT支援員を活用し、授業でのICT活用を推進する。 ・小中合同の職員の研修会を持つ。
	危機管理体制の整備	危機管理体制の整備	危機管理マニュアルをもとに、職員の危機意識を高める。また、訓練を通し生徒の危機意識を高める。	・前年度県の企画経営部より提示された安全管理の手引きを参考に本校の実態に応じた危機管理マニュアルを作成する。 ・年二回以上の防災・避難等訓練を実施する。 ・学級活動、全校集会等機会あるごとに生徒に対する安全指導を行う。 ・安全点検を定期的(月1回)、随時に実施し、不備な箇所等があれば早期に改善する。

教育活動	学力向上	個に応じた指導・わかる授業に向けた指導方法の工夫改善 家庭学習の定着	県の学習状況調査等において、前年度平均を上回る。課題の与え方の工夫。地区基礎学力テストでの合格率80%を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に取り組む雰囲気づくりを高めるため学習規律を定着させる。</li> <li>校内研究と関連させ全員参加のテーマを持った授業研究会を行う。</li> <li>教科における基礎的・基本的な内容を明確にするとともに生徒の実態にあった学習指導のあり方を工夫する。</li> <li>地区の基礎学力テストを利用し、学習意欲の向上と習慣化を進める。</li> </ul>
	心の教育	道徳の時間の充実 読書の充実 ボランティア活動の充実	学校公開や授業参観等で積極的に道徳授業を公開する。朝読書の充実、ボランティア活動の充実を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の授業を必ず1回以上授業参観で行う。</li> <li>道徳の授業では特に自他の生命尊重や人間としての生き方を考えることを中心にすすめる。</li> <li>生徒会活動、特にそのボランティア活動を通して人に対する思いやりの心と奉心を育む。</li> <li>自ら計画したことを確実に実行し、その結果が他にいい影響を与えることを知ることで自尊感情の高揚を図る。</li> <li>朝の時間等での読書活動を推進し、豊かな心の醸成を図る。</li> </ul>

教育活動	健康・体力づくり	「生きる力」を育むための、体育・食育の推進	知育・徳育・体育・食育のバランスのとれた人間を目指して指導を行う。自主的な体力作りの推進。自己健康管理が出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食指導を行うことから食事のマナーや食べ物を大切にすることを育て、牛乳残しや残菜をなくす。</li> <li>食育の授業を計画的に取り入れ、食と生活との関わり、命と健康に対する意識を高める。</li> <li>保健日よりや集会等を通し、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを伝える。</li> <li>部活動を推進し、健康推進をはじめ、人格形成や人間関係の構築等も視野に入れて指導を行う。また、それに伴い体位・体力の向上を図り、欠席者の減少を図る。</li> </ul>
	生徒指導	生徒指導の充実	生徒指導についての共通理解、共通実践をする。記録を残し次年度に活かす。基本的生活習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の特性に応じた声かけ等を行い、生徒との信頼関係を深める。(レポートの形成)</li> <li>毎週の職員朝会及び毎月の生徒指導協議会で情報交換を行い、その都度対策を協議する。</li> <li>職員一同が共通意識のもと共通理解・共通実践で取り組む。</li> <li>家庭連絡帳等を利用し、家庭との緊密な連携をとることで基本的生活習慣の定着を意識づける。</li> <li>遅刻を無くし、大きなあいさつができるような朝の当番指導を実施する。</li> </ul>
		教育相談の充実	個に応じた指導を心がけ、不登校生徒数が発生しないよう努力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談のアンケート等の結果を活用しながら、定期教育相談を充実させ、特に個別対話を重視し実践する。</li> <li>定期的に教育相談部会を設定し、常に生徒の状態を全職員が把握できるようにする。</li> <li>SCの積極的な活用を図る。</li> <li>町の支援センターと情報を密にし、不登校生徒が出ないような予防的措置を図る。</li> </ul>
	生徒会活動	生徒会活動の充実	全校生徒が学校への所属感を持ち、主体的に生徒会活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の充実を図り、計画的に実践的な取り組みを図る。</li> <li>縦割グループでの活動を広め、実践力をつける。</li> <li>毎月のアルミ缶回収活動や牛乳パック回収活動をさらに全校の活動になるよう工夫し行う。</li> </ul>
	特定課題	特別支援教育	特別支援教育体制の確立	校内委員会を設置し、支援を要する生徒全員について情報交換を行い支援計画を作成する。
	中1英・数の学習環境の改善充実(少人数指導・TT指導)	数学・英語で全学年の少人数、TT学習実施とその充実	数学・英語においては学習状況調査などで前年度より平均点をあげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習習慣を身につけさせ、個に応じた指導方法の工夫に努める。</li> <li>習熟度別少人数学習やT・T指導を行う。</li> <li>アンダーアチーバー等の生徒については、個別支援を放課後及び長期休業等を利用して行う。</li> </ul>